

校長室だより

令和元年度 第4号

2019年10月18日発行

江津市立江東中学校

全国学力調査結果から

校長 大野 淑子

10月も下旬を迎え、この季節らしいひんやりとした空気を感じるようになりました。今年は10月に入っても暑い日が続き、例年1週間の冬服への衣替え移行期間を10月いっぱい延ばしているところですが、今日でもまだ3分の1以上の生徒が夏服で過ごしています。今日までが2学期中間テスト期間。来週からは、いよいよ文化祭準備が本格的になります。

さて、本年度も4月に全国学力・学習状況調査（文科省実施、中学3年生・小学6年生対象）がありました。例年実施の国語・数学に、今年度中学校では英語が加わっています。また、これまで別々に実施されていたA問題（知識）とB問題（活用）が分けずに行われています。

公表された結果を見ると、島根県中学校の国語は全国と差がなく、数学はやや下回る、英語は下回る、という状況で、国語・数学については昨年までと同様の状況がみられています。

江津市中学校の結果を見ると各教科調査からは以下のような点が課題としてあがりました。

【国語】目的や意図に応じて質問を工夫する。自分の考えの理由を明確にし、まとめて書いたりする。

【数学】式の意味を理解したり、成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し運用したりする。図形の面積等の求め方を解釈してその説明をする。

【英語】与えられたテーマについて自分の考えをまとまりのある文章で書く。聞いて把握した内容について自分の考えを書く。

これらの課題については江東中学校も同様の傾向にありますが、これら「（相手の）意図を理解する」「自分の考えを伝える」「理由や根拠を示して説明する」等の力は、これからの社会で求められ、

必要となる重要な力です。主体的対話的な学びや個別の支援を充実させながら、知識・技能の習得とともにそれらを活用していく学習指導の充実が重要と考えています。

また【質問紙】調査から見える本校生徒の特徴的な様子としては、

- ・朝きちんと起きて朝食を食べている
- ・難しいことでも失敗を恐れず挑戦している
- ・人の役に立つ人間になりたい
- ・地域の行事によく参加している
- ・生徒間で、また授業の中で、話し合う活動をおして自分の考えを広げている
- ・国語の勉強は大事だ

等好ましい姿が見られましたが、その一方で

「将来の夢や目標を持っている」「地域や社会の課題について考えたことがある」「数学や英語の勉強は大切だ」等の項目では全国の様子を大きく下回りました。また、学校の授業以外での学習時間の不足がやはり課題となっています。

将来の夢や目標をもつことで、毎日の授業や生活が充実してきます。そしてその日々の積み重ねが、一人一人の未来を切り開く力、将来を生きる力につながっていきます。日々の授業の改善、ふるさと・キャリア教育を充実・推進していくこと、これらへの取組の重要性をあらためて強く感じています。



2年英語：「週末の予定を英語で伝え合おう」

3年 職場体験(10/3・4・5)

イーグルハイキャスト

今年も3年生では、ふるさと・キャリア教育の一環として、地域のご理解を得ながら職場体験学習を行うことができました。

○自分の能力・適性や興味・関心と、将来の自分の生き方とを関連づけて考えること

○地元事業所についての理解や関心、また、職業生活・社会生活に必要な知識・技術・技能への理解や関心を高めていくこと

○社会生活の中でのルールやマナーの大切さを知り、実践していくこと

などを目標に、市内を中心に1人1事業所、合計18事業所様のご協力のもと2日間。緊張、難しさ、大変さ、面白さ、やりがいなど、たくさんのご経験をさせていただきました。

たくさんのご支援、ありがとうございました。



あさひこども園

波積郵便局&浜田郵便局

有難うございました!

【そのほかお世話になった事業所様】

島根マツダ、菓子処みなと、めくみ保育園、カーツスポーツ、西部島根医療福祉センター、紬麦、カットひがき、ジャスト・ゲオ、原工務所、パルクロアッサン、仁摩図書館、済生会江津総合病院、宮脇書店、石田工務店、森のレストラン (敬称略)

ご参加、ありがとうございました!

江津市PTA 連合球技大会(ソフトバレーボール)10/13



江津東小体育館での5回の練習を経て迎えた市P連球技大会。江東中A・B両チームとも抜群のチームワークで、楽しく和やかに、時に鋭く決まるスパイク、ブロック…、そしてサーブ。楽しい半日でした。来年度も多くの会員の皆様の参加をお待ちしています!